

キヤノントナーカートリッジ リサイクル プログラムの ご案内

※沖縄 座間味島



キヤノンはお客さまとともに地球環境との「共生」を実現してまいります。

Canon

ここが違う！これがキヤノンのトナーカートリッジリサイクルです。

業界に先駆けてトナーカートリッジリサイクルを開始しました。

1982年、キヤノンは世界で初めて「カートリッジ交換方式」による複写機を発売しました。このカートリッジ方式は、イージーメンテナンス、小型化、高品質という画期的な特長により、世界中で好評を博しています。トナーカートリッジが飛躍的に普及する一方で、地球環境との「共生」を考えるキヤノンは、廃棄物

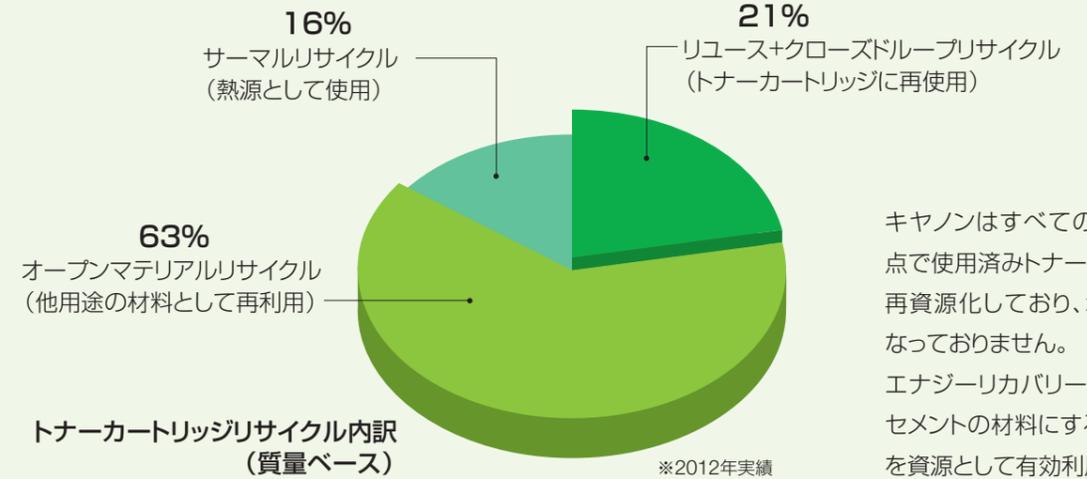
の削減、資源の有効利用という問題意識を持ちました。そこで製造者としての企業責任を果たすべく、キヤノンは1990年、業界に先駆けてトナーカートリッジのリサイクルプログラムを開始しました。当時、製品のリサイクルは今日ほど盛んに行なわれていませんでしたが、キヤノンは先駆的な取組みに挑戦しました。

「クローズドループリサイクル」を推進しています。

リサイクルとは材料を再利用することですが、要求される品質レベルが低い他用途への再利用が一般的です。品質レベルを下げた再利用を行なっていけば、いずれ廃棄されてしまいます。しかし、キヤノンではトナーカートリッジの部品/材料を同等品質で再びトナーカートリッジに再使用する「クローズドループリサイクル(閉じた輪のリサイクル)」を推進し、資源をより有効に活用しています。これは、材料の設計段階からリサイクルを考えてはじめてできること。キヤノンは製品を新たに生み出すときから、リサイクルのことを考えています。



埋立廃棄をしていません。 ※84%以上がリユースまたはマテリアルリサイクル



キヤノンはすべてのリサイクル拠点で使用済みトナーカートリッジを再資源化しており、埋立廃棄は行なっておりません。エネルギーリカバリー後の焼却灰もセメントの材料にするなど、すべてを資源として有効利用しています。

CO₂削減に貢献

キヤノンがトナーカートリッジリサイクルを通じて削減したCO₂は累積で約45万トン※にのびります。これは1,391 km² (累積CO₂削減量は沖縄本島と同程度の面積) の天然生林が年間に吸収するCO₂量に相当します※※。

※ 新規資源の採掘と最終処分が発生するCO₂量と、部品/材料の再使用で発生するCO₂量の差。
※※ 環境省・林野庁主催 第1回地球環境保全と森林に関する懇談会配布資料による。



※写真は沖縄 座間味島

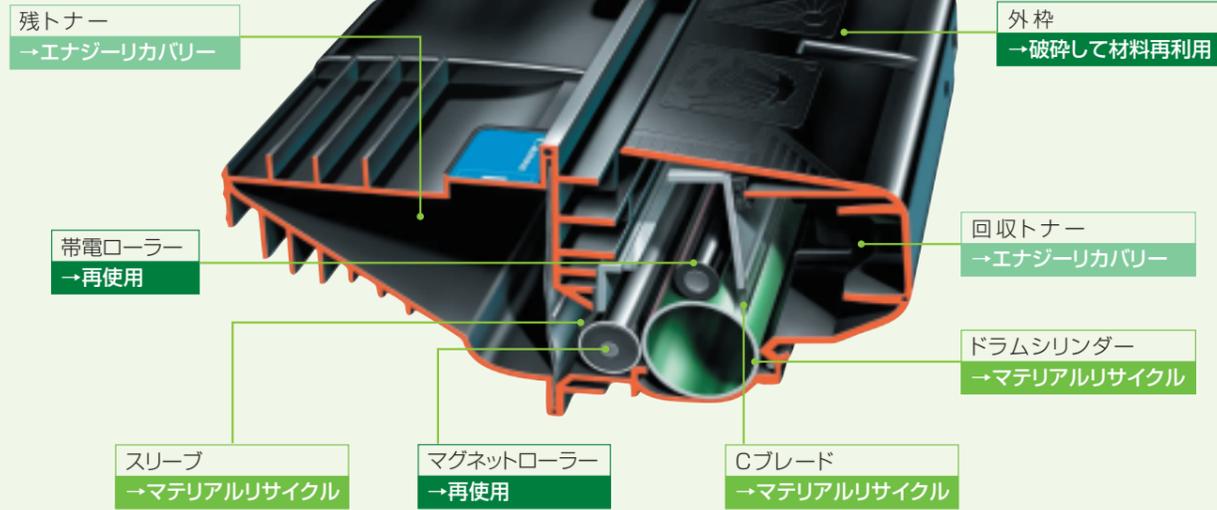
トナーカートリッジ リサイクルプログラム 特設サイトを公開中!!

1990年に開始した同プログラムは、現在、世界26カ国で実施され、これまでの累積回収量は約30.5万トン(2012年12月末)にのびります。業界初となったリサイクル開始の背景、活動の進化と今後をご紹介します。
canon.jp/cartridge20th



リサイクルでも新品と同等の品質です。

モノクロトナーカートリッジ リサイクル内容の例



再利用・再利用 とは、トナーカートリッジの部品/材料として再び使用すること。(クローズドループリサイクル)

トナーカートリッジ部品再使用プロセス

- トナーカートリッジ回収**
使用済みのトナーカートリッジは、各地域のリサイクル拠点に集められます。
- 仕分け**
使用済みのトナーカートリッジを種類別に仕分けします。
- 分解・洗浄**
部品再使用を行うトナーカートリッジは、部品やユニット単位に分解し、洗浄します。(一部、機能回復処理も行います)
- 検査**
新品と同じ厳しい品質基準で検査します。
- トナーカートリッジに再使用**
検査に合格した部品は、トナーカートリッジに再使用します。

業界初*、材料リサイクルプラントによるクローズドループリサイクル

* 使用済みトナーカートリッジの破碎から、トナーカートリッジに再使用可能なプラスチックのペレット化までを一貫して自動で行うプラントとして、キヤノン調べ。



キヤノンはトナーカートリッジリサイクルの更なる環境対応を進めるため、材料リサイクルプラントを開発。2002年に日本のリサイクル拠点であるキヤノンエコロジーインダストリーに導入しました。部品再使用を行わないトナーカートリッジや部品再使用後の残部品をリサイクルしています。

特許取得 キヤノンのリサイクル技術を集結

使用済みトナーカートリッジをプラントに投入すると、破碎、鉄・アルミ・各種プラスチック等への材料分別を自動で行ないます。特に主要なプラスチック材であるHIPS (耐衝撃性ポリスチレン) については高純度で分別を行ない、トナーカートリッジに再利用します。キヤノンはこのリサイクル技術で特許を取得しています。

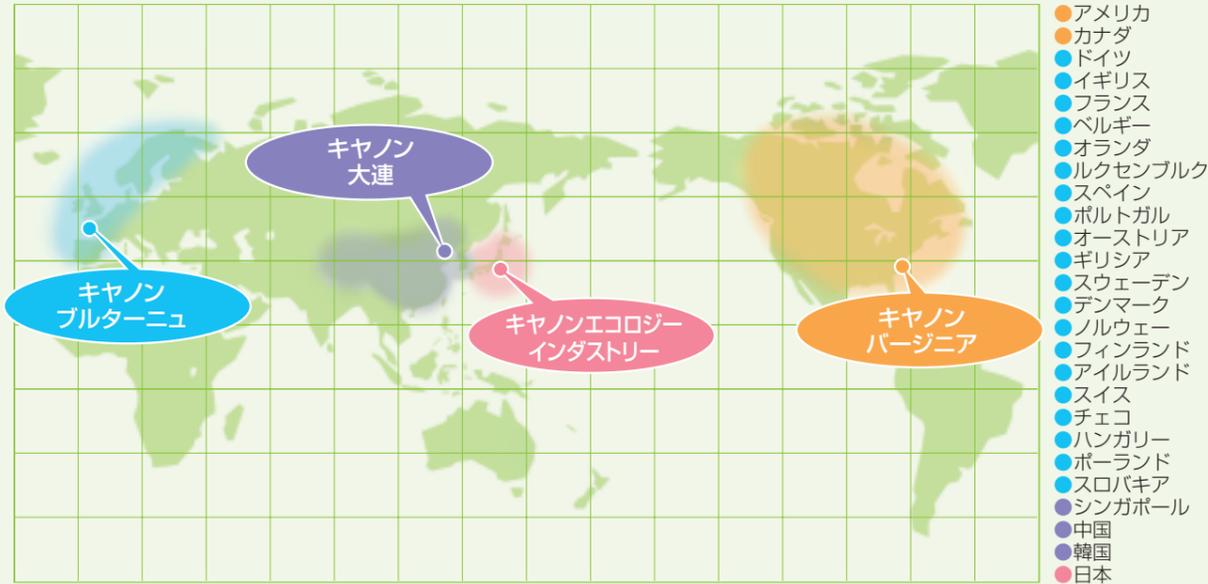
1. トナー入りカートリッジ破碎技術

残トナー (微粉) を含むカートリッジを安全に破碎するため、キヤノンは粉塵爆発対策技術を確立。トナーが入った状態でのカートリッジの破碎を実現しました。

2. HIPS (耐衝撃性ポリスチレン) の高純度 分別技術

プラスチックリサイクルを行う上で最も困難なのは、材料純度の確保です。キヤノンは「ソフト破碎方式」を開発。トナーカートリッジ破碎時は、最小限の破碎 (ソフト破碎) を行い、部品単位程度で他の材料と分別します。そしてプラスチック分別工程において最適な粒径に粉碎することで、高純度のHIPSリサイクルを実現しました。このHIPSはトナーカートリッジに再利用可能な高品質を実現しています。

グローバルにリサイクルを行なっています。

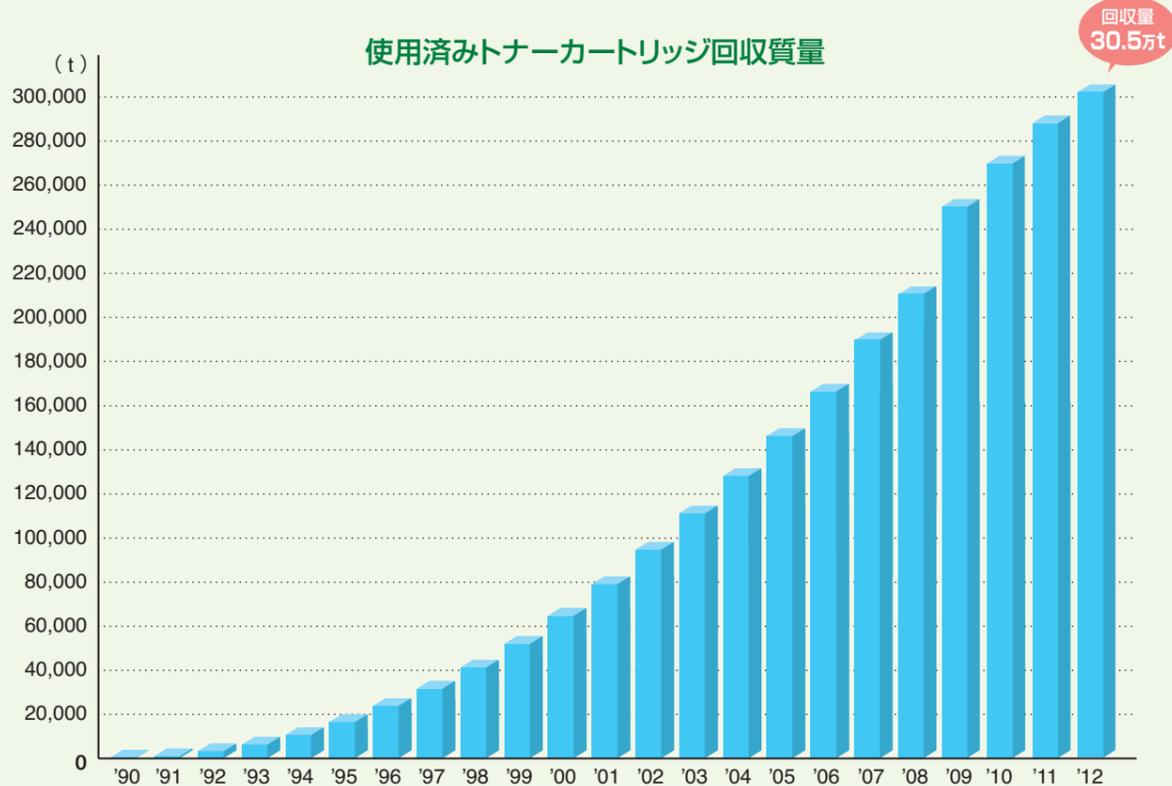


キヤノンは世界26ヶ国でトナーカートリッジリサイクルプログラムを展開しています。回収した使用済みトナーカートリッジを、北米地域はアメリカの「キヤノンバージニア」、ヨーロッパ地域はフランスの「キヤノンブルターニュ」、

アジア地域は中国の「キヤノン大連」、日本は「キヤノンエコロジーインダストリー」（一部キヤノン大連）にてリサイクルしています。

※これらの国以外でも自国内で製品の回収/リサイクルを行っている国があります。

お客さまのご協力のおかげで使用済みトナーカートリッジの回収量は年々増加しております。キヤノンに回収された使用済みトナーカートリッジ量は累積で約30.5万トンに達しています。



トナーカートリッジは環境に配慮した部品・材料でできています。

1. リサイクル可能な材料を選択しています

トナーカートリッジに使用するHIPS（耐衝撃性ポリスチレン）は、リサイクルすることを前提に考え、繰り返し使用が可能なものを採用しています。

2. RoHS指令の特定有害物質を使用していません

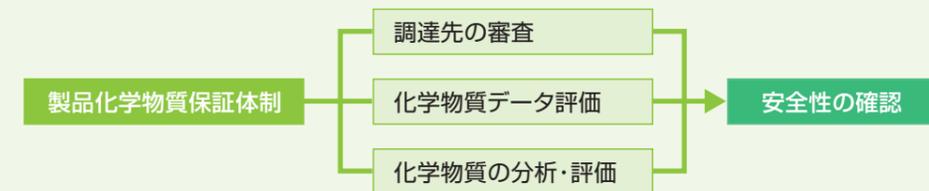
消耗品はRoHS指令対象外ですが、キヤノンは全ての純正トナーに、RoHS指令で制限されている特定有害物質を使用していません。

また全てのカートリッジ構成部品についても、RoHS指令に準拠しています。（リユースパーツの一部を除く）

* RoHS指令：Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipmentの略。2006年7月1日以降にEU域内に上市される電気・電子製品を対象に、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB（ポリ臭化ジフェニル）、PBDE（ポリ臭化ジフェニルエーテル）の6物質群の使用を制限する欧州連合（EU）が実施する有害物質規制。

3. グリーン調達を強化しています

製品を安全にご使用いただくため、キヤノンは製品に使用される全ての部品や材料に含有される特定化学物質を管理し、保証する「製品化学物質保証体制」を2003年に構築し、運用しています。



エコマーク認定取得商品/グリーン購入法適合商品

キヤノンでは環境配慮製品の情報提供を積極的に推進しています。環境に優しい製品を安心してご購入いただくために、下記キヤノンホームページをご覧ください。

環境配慮製品紹介ページ <http://cweb.canon.jp/ecology/products/>

キヤノンでは2005年より主要機種で「日本エコマーク」を取得しています。

トナーカートリッジリサイクルプログラムを含む環境活動が認められ、キヤノンは以下のような評価を受けております。

- 2008 第17回地球環境大賞「フジサンケイグループ賞」
- 2007 第4回エコプロダクツ大賞「エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）」
- 2006 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰「経済産業大臣賞」



地球環境大賞授賞式

カートリッジ回収にご協力をお願いいたします。

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的として、使用済みカートリッジを“価値ある貴重な資源”と考え、リサイクルを行っております。この活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。つきましては「キヤノンによる環境保全と資源の有効活用」の取り組みの主旨にご賛同いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご提供いただきますようお願いいたします。お客さまからご提供いただいたキヤノン純正カートリッジは、再資源化を行い、資源として有効利用いたします。

●キヤノンホームページ『使用済みトナーカートリッジ訪問回収サービス』のご利用

日本通運株式会社*との提携により、キヤノンホームページにて、一本から使用済みトナーカートリッジの訪問回収を無料で承っております。*回収作業は日本郵便のゆうパックが行います。

●回収専用箱による無料宅配便のご利用

使用済みトナーカートリッジの数が多いお客様には、回収専用箱の大箱（8本程度入用）、小箱（4本程度入用）を無料でご用意させていただいております。

●回収窓口へのお持ち込み

キヤノンではご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意いたしております。

回収スタンド



回収専用箱



回収方法の詳しいご案内や回収窓口の検索につきましては、下記キヤノンホームページをご覧ください。

回収のご案内のページ canon.jp/recycle

使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動



キヤノンでは環境保護と教育支援活動の推進を図るために、使用済みカートリッジの回収を通じてベルマーク運動に参加いたしております。ご使用済みのカートリッジを学校単位で集め、これをキヤノンに送付していただくことでベルマーク点数が付与されます。この運動はベルマーク教育助成財団に登録されている学校のみが対象となります。詳細は上記キヤノンホームページでご確認いただけます。

おかげさまで、参加校が15,000校を突破しました。

安心してご使用いただくために、キヤノン純正品をお使いください。

キヤノン純正
トナーカートリッジの
ご使用をお勧めします

キヤノン純正トナーカートリッジは、キヤノンレーザービームプリンターの印刷システムを支える重要な機構の一部として、プリンター本体とともに一体として開発されたものであり、研究開発活動によって実現した高度な技術が集約されています。プリンターの性能を維持し快適な出力環境を得るために、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をお勧めします。

非純正
トナーカートリッジの
ご使用について

キヤノン純正トナーカートリッジ以外のトナーカートリッジ（トナーを再充填した再生品を含む）の使用を原因とするプリンター本体の不具合につきましては、無償保証期間内または保守契約期間内であっても、保証書または保守契約に基づく修理は実施いたしません。別途、有償での対応となりますので、ご使用にあたりましてはこの点にご留意ください。

お客様からご提供いただいた使用済みキヤノン純正カートリッジは、キヤノンでは埋立て廃棄せずに資源として有効利用しています。ただし、純正品以外の製品につきましては、使用されている材料の詳細が不明なため、キヤノンではリサイクルすることができず、リサイクルプログラムの対象となりません。

キヤノンでは、国内で、自然再生、環境保全活動に取り組む「未来につなぐふるさとプロジェクト」を実施しております。ご使用済みのカートリッジ回収にご協力いただくと、トナーカートリッジ、インクカートリッジの回収個数に応じた金額を「未来につなぐふるさとプロジェクト」に寄付いたします。

※ベルマーク教育助成財団に登録されている学校から回収したものと、里帰りプロジェクトで郵便局から回収したものは除く。



キヤノンはお客さまとともに地球環境との「共生」を実現してまいります。お客さまのご協力をお願い申し上げます。キヤノンの環境活動の詳しい内容は、弊社ホームページ canon.jp/ecology をご覧ください。

キヤノントナーカートリッジリサイクルプログラムに関する問合せ先
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
カートリッジ企画課 Tel. 03-6719-9515

Canon キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社



キヤノンはリサイクルを推進しています。